

協和中央病院 院長就任挨拶

365 日患者さんの立場に
立った医療の提供に努めます

病院長 黒川 徳一



6月1日より院長職を拝命いたしましたので皆様にご挨拶させていただきます。

当院は創立以来“相手の立場に立つ”の基本理念のもと、地域医療に貢献できる病院を目指して努力してまいりました。当院を訪れる皆様に信頼してご利用いただける2次救急病院として今後も働かせていただきたく思っております。

さて、当院では昨年1年間に約1750件の救急車搬送受け入れができました。増え続ける脳卒中などの救急に対応すべく、平成28年2月より3テスラのMRIを導入し、急性期の脳梗塞診断・治療等に役立てております。昨年はtPA（超急性期血栓溶解剤）使用例が16件にまで増加しました。

MRI検査は脊椎の急性期圧迫骨折や胆石症などの診断にも役立っており、他の医療施設からの検査ご依頼もお請けして連携も進めております。電子カルテの導入により各診療科記録の一括管理を行い、画像や検査結果の早期反映・診断治療の迅速化につなげております。

また、近年は高齢化が顕著に進むなか、多疾患併存状態の患者さんが急増しています。患者さん一人一人の生活の質を考え、健康寿命を考慮した寝たきり防止を目指す医療を実践してまいります。

当院を訪れてくださる皆様にとって癒しの場となるように、職員一人一人が、明るくする、患者さんの立場に立って考え行動する、そして自分たちも成長し皆様から頼っていただける医療・介護・福祉人になる、この3つを実践してゆきたいと考えます。

言うは易く行うは難し、ですが、1日1日を大切に職員共々努力してまいります。皆様の病院として成長できますように、ご指導ご協力のほどお願い申し上げます。